

アフリカ：急増する交通事故

日本の安全対策製品に期待

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において辻プラスチック株式会社(滋賀県東近江市、辻清嗣代表取締役)が提案する「自発光道路鋏を活用した夜間の交通安全対策にかかる案件化調査」(タンザニア)を採択しました。

経済成長が続くタンザニアでは自動車が普及し、登録車数は10年間で23万台(2005年)から151万台(2015年)へ約6倍以上急増しました。一方で、道路などのインフラ整備や交通安全対策は遅れており、交通事故数や交通違反数も急増しています。(WHOの「人口10万人あたりの交通事故死者ランキング(2013年)」ではタンザニアは世界ワースト6位)。電力不足に加え街路灯が少ないため真っ暗な道も多く、特に夜間は事故が起こりやすくなっています。

辻プラスチックの自発光道路鋏は、内蔵された太陽光パネルと蓄電池により日中に自動的に充電し、夜になると発光を始める自発光道路鋏という製品です。蓄電池使用のため電源不要で、メンテナンスフリー、10年以上の長寿命、高輝度LEDによる高い視認性が特徴です。



ダルエスサラーム市内渋滞状況



自発光式道路鋏

ケニアではすでに道路公社に対して1,000個の納入が決定している当社ですが、今回のタンザニアにおける調査では、同社の自発光式道路鋏の普及にむけた事前調査として、ダルエスサラーム市役所と協力し、現地での交通事故調査や同社の製品の適合性調査、現地の道路鋏の設置状況等を調査する予定です。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 小西

TEL 078-261-0397 e-mail : Konishi.Yoko.2@jica.go.jp